

昭和47年8月1日発行

徳之島町の現勢  
面積 100.41km<sup>2</sup>  
人口 15,666人  
男 7,333人  
女 8,333人  
世帯数 4,663戸

# 広報とくのしま

No. 69

発行所  
鹿児島県大島郡  
徳之島町役場  
電話(09978)②1111番  
編集企画課



## 汚される海浜 犯人はだれ?

公害とは島の外の工業都市周辺にしか起らない、いわば、島とは無縁のものだとばかり考えていたのに、ここ二・三年の間にその魔手は奄美群島ぐんだりまでもしのびよってきた。まだ、本土でいわれる光化学スマッグだけは発生していないものの、いま、島では海も山も川も不法投棄や無計画な開発によって自然美が損われ、日増に汚染度が進行しつつある。

そこで、広報編集室では町内をめぐり実情を調べてみた。以下はそのあらましである。

△ここ数年来、沖を通るタンカーなどから排出される廢油が波打ち際沿いに漂着するようになり海岸の汚れがひどくなつた。  
とくに海上から島に向って強い風が吹きつける日には、満潮にのって黒いどろどろの廢油がどっと押し寄せ、白い砂の敷きつめられた島のきれいな海岸を汚してしまって、この悪現象が繰返されていてしまう。  
その被害は海水浴場はもとより沿岸漁業にも及んでおり、このまま放置すると、ここ二・三年のうちにもとりかえしがつ

対策は?



### 打ち寄せるスラッジ公害 自然美をそこなう不法投棄

まず自からの反省を

ガラス瓶の破片やあきかん  
プラスチック製容器の不法投  
棄で島の野山も海も川も毎日毎  
に汚れが目立ってきた。



(写真)黒い廢油がベトツ  
ク亀徳海岸上。下、不法  
投棄による各種廢棄物が漂  
着してごみ場と化した下久  
志海岸 いずれも七月十五  
日撮影)

### 主要記事

- 汚される海浜 犯人はだれ?  
楽しい夏の思い出を……二  
農業振興地域整備のあらまし……二  
大型船業通りに不満の声……二  
四六年犯罪白書……三  
ミカンコモバエの防除剤散布始まる……三  
心的な行為に期待するほかない。  
△廢油公害と並んで、自然を汚す家庭  
ところで、島の海岸を汚す主犯は外航  
タンカーだという。海上保安庁の調査によると、南シナ海などでバラスト水をと  
りかかるさいに油分をふくんだ水を捨て  
ていることがわかった。これが海流  
にのって北上しているあいだにターパー  
ル状の黒い油塊になるわけで、この  
一年間に内外航タンカーが海洋に捨て  
た油分は二十万トンに達するもの  
と推定されているという。

なお、名瀬海上保安部の話だと、  
六月から海洋汚染防止法が施行され  
これに伴って油分をふくんだ水を海  
洋に捨てるとはできなくなったの  
で、今後はそれほど被害が広がると  
考えられないが、さらにきびしく監  
視をつづけていくといふ。ところが  
すべての船が法を守るかどうかとな  
るとはなはだ疑問で法規制だけで、  
完全な効果があるのか、関係者の良  
慢である自然美がだいなし  
になるとあって各方面から  
「使い捨てる時代を反省しよう」という強い自省の声が  
高まっている。

△ところで、早急な対処  
策としては、各自の反省と  
協力を呼びかけるほかの具  
体策はないが、保健衛生課  
の計画によると昭和四十九  
年度中には環境整備事業の一  
環として一日処理能力五  
トンの廢棄物処理施設を町  
内二か所に設置することに  
なっている。



## ハブに咬まれたときの

## 応急処置

- 咬まれた傷口より上方をきんぱくする。  
(注、30分経過しないこと。)
- 咬まれた傷口を口で吸って毒を出す。  
(注、虫歯や傷のある人は危険)
- できるだけ患部を動かさない。
- きたない刃物などで傷口をよごさない。
- できるだけ早く血清治療を受ける所まで急ぐ

## 十分な栄養と

## 休養を



夏になるとふだん健康な人でも、疲れやすく食欲がなくなるものです。これは温度や湿度が高くなるにつれて、体内的ビタミンB1が消耗され、エネルギー源である糖類、デンプン類が十分に燃焼されず、不完全燃焼でできた燃えかすが疲労素となり疲れたり、食欲不振になつたりするからです。そこで夏のお料理は食欲を刺激するくふうが大切になります。その材料としては香辛料、エキス分、クエン酸があげられます。香辛料には、コショウ、ワサビ、トウガラシ、ニンニク、レモン等、これらは食欲をつけるだけではなく、消化を助け食物を消毒して健康を保つ働きをします。つぎにエキス分というのは、ステップ、すまし汁、みそ汁等のだしの成分で、食欲増進の作用があります。

クエン酸はすっぱいものに多く、レモンやナツミカンなどの柑橘類、ウメ干し酢などに含まれています。夏になると酢のものやおすしがおいしいというのは、自然にからだの方がクエン酸を要求するからです。その他、ビタミンB1の含有食品であるブタ肉、たら子、すじこ、ウズラの卵、ピーナツ、マメ類、セロリ、シイタケにニラ、ニンニク、ネギをあしらうとビタミンB1を安定させ、一層効果的な栄養の働きがあります。またつとめてカルシウムをとることです。神経のイライラを防ぐのに効果があり、牛乳、チーズ、小魚類に含まれています。以上の事に気をつければ、食欲不振を防ぐことができます。それでも食欲がなく、疲れて、やせてくる人は、どこかからだに異常があるものと思い、医者の健康診断を受けることです。ともあれ、夏は十分な栄養と休養とり規則正しい生活を心がければ「夏負け」など吹っとんでしまいます。

## ▼性犯罪から身を守るには！

夏の犯罪といえば、性犯罪といわれるぐらいです。性犯罪はほとんど夜間に、しかも晴天の日に集中しています。そこで暗い夜道の一人歩きをやめ、「車で送りましょ」という甘い言葉や、見知らぬ男や変な男の言葉などはとくに注意しましょう。そしてチカソにおわれられた男、大声を出して救いを求める、常に一〇番ブザーを携帯して歩きましょう。また被害にかかるたらどんなに小さなことでも、すぐ警察に届けましょう。

